

委員会の活動に多くの若手・中堅技術者が参加！

技術研鑽・技術者相互の交流が目的

平成28年度活動中！

ご参加お待ちしております！



平成28年度の活動方針

建設コンサルタンツ協会中部支部の平成28年度都市計画委員会の活動がスタートした。今年度の都市計画検討グループの目的は「技術研鑽」と「技術者相互の交流」であり、技術研鑽を通じてグループ部員が集まり、互いの交流の輪が広がる場づくりや、学識経験者、官公庁、他の団体との積極的な交流の場づくりを進める。平成28年度は、平成27年度と同様、都市計画委員会に設置されている「都市整備」、「交通」、「ランドスケープ」の3つのワーキング（以下、WG）主体の活動に重点を置き、活動計画を立案する。また、社会貢献活動にも積極的に参加する。

活動への意見を事前募集

本年度の活動開始に先駆け、昨年度と同様、本委員会活動に希望する内容について事前にアンケート調査を実施した。3つのWG活動に寄せられた回答で最も興味があるテーマは次の通りであった。

- 【都市整備WG】「人口減少社会のまちづくり」
- 【交通WG】「歩行者自転車交通」「ランドスケープWG」「景観形成」
- 【パークマネージメント】

なお、開催時期の希望は10・11月が最も多かった。（詳細は別紙参照）

H28都市計画委員会総会

平成28年7月6日（水）に、名城大学ナゴヤドーム前キャンパスレセプションホールにて平成28年度都市計画委員会総会を開催した（参加者59名18社）。総会では前半の2部構成で開催し、第1部では、中部建設コンサルタンツ協会後藤副部会長のおいさつを皮切りに、平成27年度の活動報告・平成28年度の活動計画（案等）について説明を行った。第2部では、名城大学理工学部から松本幸正教授をお招きし、「これから求められる都市交通の姿」を皆さんと共有し、「人口減少、地方都市の衰退、コンパクトシティへの取り組み」の中で、都市交通の果たす役割が重要であり、経済成長を前提としたまちづくり

合同ワーキングを開催！

平成28年6月14日（火）に若手・中堅技術者を中心に、3つのWGの合同WGを名古屋市中村区の宝第一ビルにて開催した（参加者40名11社）。当日は、3つのWGに分かれ、都市計画委員会の各委員がファシリテータを務めながら、参加者が興味を引かれる講習や見学会についての議論した。議論した結果については、各WGの代表として選出した若手技術者からプレゼンを行った。各人とも初々しいながらもしっかりと姿勢で発表され、若手技術者の勢いが感じられた。合同WG後には、意見交換会を実施し、普段なかなかできない同業他社の若手・中堅技術者同士の名刺交換をはじめ、仕事やプライベートの話などに花を咲かせた。

活動内容は近日公開！

本年度の活動内容（見学会・講習会等）については、合同WGの意見等を踏まえ委員会検討している。現時点での活動内容は次の通り。

第26回業務技術発表会開催！

平成28年10月12日（水）愛知県産業労働センター（ウインクあいち）12:30受付開始、13:00開会



松本 幸正 氏 プロフィール

【学歴】 1991年 名古屋工業大学大学院工学研究科博士前期課程修了

【学位】 博士(工学)

【資格】 技術士(総合技術監理部門、建設部門-都市及び地方計画、建設部門-道路)

【職歴】 2007年 名城大学理工学部助手、講師、助教授を経て名城大学理工学部教授

【表彰歴】 第18回土木学会土木情報システムシンポジウム発表賞（1993年）
日本都市計画学会2015年年間優秀論文賞（2016年）

【委員会全体】「人口減少社会の都市計画のあり方」講演会（講師名城大学海道教授）、9月開催予定。

【都市整備WG】「豊川稲荷（豊川市）」見学会＆講習会（講師いなり楽市実行委員会等）、11月開催予定

【交通WG】企画1「自転車交通」見学会、場所・開催時期未定。企画2「交通行動」講習会、講師・開催時期未定

【ランドスケープWG】「梅小路公園（京都市）」見学会＆講習会（講師京都市、指定管理者）、10月開催予定

各企画の案内は、内容確定後、各会員にメールにて配信する。

現地見学会、講習等を通じ交流が活性化！

平成28年度の活動終了！

多くの皆様にご参加いただき感謝！



都市計画委員会 合同WG

都市整備WG 豊川稲荷

ランドスケープWG 梅小路公園

全体講習会 名城大 海道先生

交通WG ビックデータ講習会

6. 記念講演会 「これから求められる都市交通の姿 ～皆さんの力でパラダイムシフトを！～」 講師：名城大学 理工学部 社会基礎デザイン工学科 松本 幸正 教授 様 都市計画委員会総会 講演：名城大 松本先生

平成28年度都市計画委員会活動及び参加者

【会員参加型企画】

- 合同WG (6/14) : 41名 (10社)
- 都市計画委員会総会 (7/6) : 59名 (17社)
- 全体講習会 (9/26) : 33名 (16社)
- ランドスケープWG講習・見学会 (10/27) : 27名 (11社)
- 都市整備WG現地見学会 (11/18) : 9名 (5社)
- 交通WG講習会 (11/22) : 20名 (9社)

延べ189名の会員にご参加いただきました！ ありがとうございます！

【都市計画委員の活動】

- 業務技術発表会：運営補助
- 建設技術フェア2016in中部 学生交流広場対応
- 建設コンサルタントフェア2016in中部：運営補助
- 事前復興まちづくり模擬訓練（愛知県）：研修会
- 都市計画委員会：毎月開催：（全9回 5月～1月）

ワーキング活動の総括

本年度は、6月に開催した合同WGを皮切りに、総会、全体講習会、各WG活動を実施し、延べ189名の会員が参加した。（左記参照）

①全体講習会（平成28年9月26日）名城大学天白キャンパスにおいて、同大学の海道教授より「人口減少が進む都市において中心市街地や郊外住宅地の再生」及び「持続性を確保するにはどのようなまちづくりを進めるべきか」について講習会を開催した。人口減少の問題は、都市計画委員会の各WGの共通課題であることから全体講習会と位置づけ開催した。講演では、これからのまちづくりの具体的な進め方などについて講話があった。また新たな取組みとして、教授と参加者との対話形式による意見交換を実施した。（詳細は別紙参照）

交通ワーキング活動

「梅小路公園」（京都市）現地見学会・講習会（平成28年10月27日（木））、「官民連携による公園の集客力」を高める工夫を学ぶ」と題し、京都市の「梅小路公園」への現地見学会を実施した。現地では、京都市から「梅小路公園の再整備によるにぎわいの創出」と題し、公園再整備における民間企業との連携やまちづくりの将来計画についての京都市都市緑化協会からは「公園誕生から20年の歩み」と題し、計画・設計・施工・維持管理において、公園誕生から現在までの20年間の公園歴史について講演があった。講習会後は、講師の解説付きで梅小路公園を見学し、設計、施工、維持管理など様々な立場からの見解を聞いた。また、講習会・見学会実施アンケート調査を実施した。アンケート調査では、本見学会・講習会の感想並びに現地に確認でき

第27回開催告知

平成29年10月4日（水）、「ウイंकあいち」にて開催予定。4月に応募依頼を各会員に配信。発表希望者（業務技術部門、プレゼン部門とも）は、7月中旬までに概要書を提出。業務技術部門は応募者の中から選考、プレゼン部門は先着順（各社1名）。

平成28年度の活動終了！

都市整備ワーキング活動

建設コンサルタツ協会中部支部の平成28年度都市計画委員会の活動が終了した。今年度の都市計画検討グループでは、技術研鑽を通じてグループ部員が集まり、互いの交流の輪が広がる場づくりや、学識経験者、官公庁、他の団体との積極的な交流の場づくりを進めた。平成28年度は、都市計画委員会に設置されている「都市整備」、「交通」、「ランドスケープ」の3つのワーキング（以下、WG）主体の活動に重点を置き、活動を実施した。

ベース、住民、自発的組織の活動が重要」との講話内容を踏まえ、豊川市「いなり楽市」の現地見学会を実施した。見学会では、商店主や豊川市職員より、官民の連携により集客を得ることができるようになった経緯、今後の課題など、現場の生の意見を聞いた。また、御油宿から赤坂宿まで立ち並ぶ国の天然記念物であるマツ並木を併せて見学した。（詳細は別紙参照）

「梅小路公園」（京都市）現地見学会・講習会（平成28年10月27日（木））、「官民連携による公園の集客力」を高める工夫を学ぶ」と題し、京都市の「梅小路公園」への現地見学会を実施した。現地では、京都市から「梅小路公園の再整備によるにぎわいの創出」と題し、公園再整備における民間企業との連携やまちづくりの将来計画についての京都市都市緑化協会からは「公園誕生から20年の歩み」と題し、計画・設計・施工・維持管理において、公園誕生から現在までの20年間の公園歴史について講演があった。講習会後は、講師の解説付きで梅小路公園を見学し、設計、施工、維持管理など様々な立場からの見解を聞いた。また、講習会・見学会実施アンケート調査を実施した。アンケート調査では、本見学会・講習会の感想並びに現地に確認でき

第26回業務技術発表会

平成28年10月12日（水）愛知県産業労働センター（ウイंकあいち）にて開催された。都市計画部門では4編の論文発表があり、玉野総合コンサルタント(株)の澤井遼氏（発表タイトル「土地区画整理事業完了地区におけるエリアマネジメント活動支援」）が優秀賞を受賞した。

次年度都市計画委員を公募

委員改選となる平成29年度において、都市計画委員を新たに公募する。（都計委員会）の活動内容は、上記参照）

都市整備WG

I. 開催日程等

日時：平成28年9月26日（月） 16:00～19:00

場所：名城大学天白キャンパス タワー75 1002 会議室

テーマ：演題 人口減少社会のまちづくり：中心市街地・郊外住宅地

講師 名城大学 都市情報学部 都市情報学科 海道清信 教授

参加者：33名（16社）

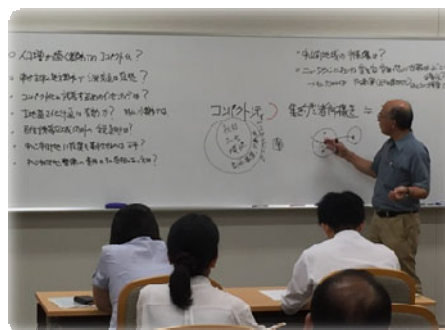
II. 活動概要（講演会要旨）

本講習会は、名城大学教授の海道先生に、人口減少が進む都市において中心市街地や郊外住宅団地の再生や持続性を確保するにはどのようなまちづくりを進めるべきかについて講演いただきました。

立地適正化計画では、都市機能誘導区域や居住誘導区域を設定し、誘導施設を特定するなど、土地利用や施設立地の枠組みを区域区分や地域地区に加えて新たに構築することになりますが、「都市機能誘導区

域に位置づけられた中心市街地」や「居住誘導区域に位置づけられた郊外住宅団地」、或いは「居住誘導区域外となる市街化調整区域内の団地や集落地」のこれからのまちづくりを具体的にどう進めるのかなどについて理解を深めることができました。

講演後、参加者からの質問事項をホワイトボードに書き並べ、対話形式で、コンパクトシティの見解、各問題への考え方、対策・検討方法について質疑応答をしました。今回は1時間以上の質疑時間をとることで、普段業務を行う上でのいろいろな疑問点などの話を聞くことができました。



▲質疑応答の様子



▲名城大学海道教授



▲講習会の様子

都市整備WG

I. 開催日程等

日時：平成 28 年 11 月 18 日（金） 11:00~16:20

テーマ①「豊川稲荷表参道見学」

場所：豊川稲荷表参道

講習会：(1)「地域再生計画を活用した中心市街地の魅力向上に向けた取り組み」
いなり楽市 表参道発展会 森下氏

(2)「豊川稲荷表参道地区における魅力向上に向けた取り組みについて」
豊川市役所建設部都市計画課 柴田係長・八木主事

テーマ②「御油のマツ並木」見学

(文化財保護と公園及び道路の一体的整備事例の見学)

参加者：9名（5社）

II. 活動概要（講演会要旨）

テーマ（1）豊川稲荷表参道見学

名城大学教授の海道先生の講演で、「縮小期のまちづくりでは、地域ベース、住民、自発的組織の活動が重要」との指摘がありました。そこで、実際の現場での活動及び苦労について合わせて学ぶため、豊川市の「いなり楽市」の見学会を実施しました。

見学会では、活動の中心となった商店主と豊川市職員の方に各立場での話を聞き、現場のファサード整備などを見学しました。「いなり楽市」は、当初行政主導で進めていたものの、なかなかうまくいかない中、「できることから始めるまちづくり」を合言葉に、若手商店主が中心となり、行政を巻き込んでまちづくり活動が行われるようになり、多くの集客を得ることができるようになった経緯や、今後の課題と考えている問題点など、貴重な現場の生の意見を聞くことができました。



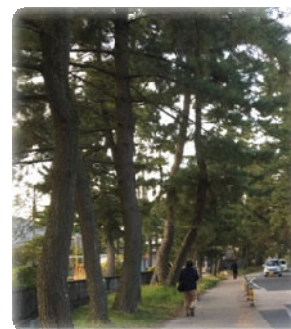
▲講習会を行った「いっぷく亭」



▲現地見学の様子

テーマ（2）御油のマツ並木

御油宿の西端から赤坂宿の東端までの約 600 メートルにわたって立ち並ぶ国の天然記念物であるマツ並木を見学しました。最初に「御油の松並木資料館」に立ち寄り、スタッフの方から御油の宿場町の歴史等について説明を受けた後、松並木と現在の運用状況等を見学しました。見学会の案内文で「車道部分を狭くして歩道が整備されたため、以前より安全に歩行者が通行できるようになりました。」と紹介しましたが、思ったよりも通行車両のスピードが速く、少し危険を感じながら歩きましたが、マツ並木保存と現代での交通運用の両立の難しさを感じる現場であったと思います。



▲マツ並木

交通WG

開催日程等

日時：平成28年11月22日（火） 15：00 ～ 17：00

場所：建設コンサルタント協会中部支部 3F 会議室

テーマ：「交通ビッグデータの活用・可能性と展望」

講習会：株式会社ナビタイムジャパン 梶原様

株式会社ゼンリンデータコム 金田様

参加者：24名（10社）

II.活動概要

今回の講習会は、現在活用の幅が急激に増大している「交通ビッグデータ」の現状と展望について、道路・鉄道・自転車・歩行者等、あらゆるモードの交通ビッグデータを取り扱われている、「民間の交通データプロバイダ」の2社の技術者の方にビッグデータの活用と展望について講演頂きました。

講習では、各社の交通ビッグデータ分析技術者の方々から、「データの種類と特徴」「データ処理方法」「データ処理の応用」「活用事例」「今後の展開」などについて、貴重な情報提供を頂き、我々コンサルタント技術者が業務で活用・展開するためのノウハウについて理解を深めることができました。

III.意見交換の主な内容

- ・各種分析に対する、クライアントのニーズや問い合わせの状況について
- ・データのサンプル数や信頼性についてと、今後のサンプル増加等に向けた取り組みと見込みについて
- ・位置情報精度の向上による、分析の高度化について
- ・データ補完による精度向上について（より具体的な手法の確認）
- ・オリンピックやアジア大会等の大規模イベントに向けた現在のビッグデータ活用の動向について。



▲講習会風景（ナビタイムジャパン梶原氏）



▲講習会風景（ゼンリンデータコム金田氏）

I. 開催日程等

日 時：平成 28 年 10 月 27 日（木）9:00～17:30

場 所：京都市「梅小路公園」（総合公園 13.7ha）

テーマ：官民連携による公園の集客力を高めた工夫を学ぶ

講 師：京都市 建設局 みどり政策推進室 主任 松永昭博 氏

公益財団法人 京都市都市緑化協会 専務理事 藤井俊志 氏

参加者：27 名（11 社）

II. 活動概要

近年、公園においても集客力を高める工夫が求められており、梅小路公園はこの数年で来園者数が 2.8 倍の伸び率となっています。水族館や鉄道博物館を始め、パークカフェ、市電ショップ、京野菜レストランなど民間企業との連携やまちの活性化を目的とした「みんながつながるプロジェクト」への積極的な参加など様々な事業を展開されており、今後の公園計画・設計及びマネジメントの参考とすることを目的に講習会・見学会を実施しました。

京都市の松永氏の講習は「梅小路公園の再整備によるにぎわいの創出」と題し、公園再整備における民間企業との連携やまちづくりの将来計画について学ぶことができました。

京都市都市緑化協会の藤井氏の講習は、「公園誕生から 20 年の歩み」と題し、計画・設計・施工・維持管理において、公園誕生から現在までの 20 年間の公園歴史について学ぶことができました。

講習会後は、講師の方の解説付きで梅小路公園を見学し、設計、施工、維持管理など様々な立場からの見解を聞くことができました。



▲講習会の様子 1（松永氏）



▲講習会の様子 2（藤井氏）



▲講師による現場説明の様子



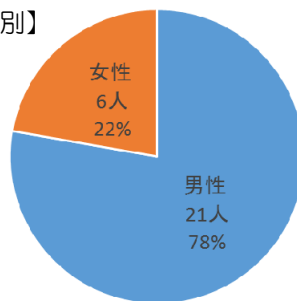
▲講師と参加者の集合写真

Ⅲ. 講習会・見学会後の参加者の意見

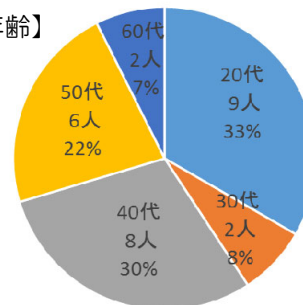
講習会・見学会を実施後、参加者を対象にアンケート調査を実施しました。アンケート調査は、ご協力を頂いた京都市と京都市緑化協会へのお礼を兼ねた参加者意見のご報告と今後のワーキング活動の参考資料とするために実施しました。

(1) 属性

【性別】



【年齢】



(2) 本講習会・見学会に対する主な意見

- ① 官民の連携により、地元住民も観光客も楽しめる素晴らしい公園であった。
- ② 公園がまちづくり活動と連携し、効果的に機能している良い事例であった。
- ③ 計画・設計・施工・維持管理の話や実際に見学でき、有意義な見学会であった。
- ④ これからの公園整備に関するアドバイスなどをもっと多くお聞きしたかった。
- ⑤ 京都の造園技術を継承した「朱雀の庭」や「いのちの森」は素晴らしかった。

(3) 講演者への質問と回答

番号	質問	回答
1	みんながつながるプロジェクトの効果は？ (40の企業・団体による清掃やイベント等の活動)	京都駅から梅小路公園のエリアのにぎわいを創出する目的で活動しています。その効果は現在未測定です。
2	水族館や博物館の公園設置許可後の公園使用料金はいるのでしょうか？	使用料は徴収しています。固定資産評価単価をベースに算定しており、売上比例方式を採用している「管理許可」とは異なります。
3	チンチン電車の運行は、通常の指定管理の範囲で対応できていますか？	運行業務は指定管理業務ではなく、別途業務として京都市と契約しています。
4	園内での自転車の走行が多いが事故発生はないのでしょうか？	大きな事故はありません。以前から生活道路として利用されてきた経緯があり、自転車の乗入れは禁止していません。
5	公園のストック効果の計測や評価する取り組みはどうされているのでしょうか？	指定管理者が来園者数の調査（8日間/年）を実施し、年間来園者数を推計しています。
6	池の水あか清掃、樹木剪定の維持管理人工はどのくらいでしょうか？	「朱雀の庭」において、水あか清掃：約130人工/年、樹木管理：約90人工/年です。

(4) 今後のランドスケープWG 活動に望む主な意見

- ① 実際に現地を見ることで多くを学ぶことができる見学会を希望します。
- ② 普段行かない遠方の見学会を希望します。
- ③ 民間活力導入事例、先進事例、歴史ある事例の紹介を希望します。
- ④ 見学会にプラスして設計者等の解説や講習会を希望します。
- ⑤ 失敗から成功に転じた事例紹介を希望します。